

# 定例公安委員会開催概要

## 1 開催日

令和5(2023)年4月5日

## 2 開催内容

次の議題について、警察本部から説明・報告がなされ、決裁等が行われた。

### ■全体会議

#### 【公安委員会から】

冒頭、委員から、

「今日こちらに向かいながら、途中で石割り桜を眺めてきた。盛岡の桜は、石割桜からスタートするというくらい早咲きの桜であるが、沢山の人に囲まれ撮影会という状況だった。この桜が4月5日に満開になるということはこれまでになかった。今年は明日あたりから小、中、高と入学式が始まって忙しくなると思う。残念ながら明日から雨ということで少し悔やまれるが、桜がまさに満開という時期に子供たちの入学というのは、教育に身を置いてきた者としてはすごいことと感じている。

子供たちが入学式を迎えると、送り迎えの車や通学の中高生で、今まで静かだった道路の交通量も増してくることから、毎年、春の交通安全運動というのを実施しているが、新年度を迎え、ぴかぽメールで変質者情報も入るようになってきた。新年度のスタートには様々なことが起こるので、各部門が連携を取り合いながら全体を見ていただきたい。例えば、刑事部や生活安全部の者が交通指導をしても良いと思うし、皆で守らせるべきルールを指導していくことは大事であるので、全警察署員の力を合わせて取り組んで欲しい。

それから4月になり自転車運転者を気にしながら眺めているが、岩手では、まだあまりヘルメットを着用していない者が多いと感じている。高校生が通学し始めればヘルメット姿が目につくかと期待しているが、教育委員会との交換会でぜひヘルメット着用の推進という話題で盛り上がった記憶もあるので、是非広報活動を進めていただきたい。

実は自分も2月半ばにヘルメットを注文したが、未だ入手できていない。同様に、着用を考えていてもまだ入手できていない者もいるかもしれないが、このような状況に慣れてしまうと着用しなくなってしまう心配もある。努力義務ではあるが、自分の命を守るヘルメットの着用推進を今一度声を大にして広報していただきたい。」

旨の発言があった。

#### 【警務部議題】

##### ○ 令和5年県議会2月定例会の開催状況について

警察本部から、「会期は令和5年2月15日から同年3月23日までの37日間で行われた。警察本部関係議案等については、議案3件、報告2件である。一般質問の状況は、2月24日から3月1日までの4日間で行われ、警察本部に対する質問はなかった。

3月8日に行われた予算特別委員会警察本部審査では5名の委員から質疑がなされ、警察本部長及び各部長等が答弁を行ったが、主な質疑、答弁としては、まず、希望いわて、奥州選挙区、郷右近浩委員から、通学路の安全対策について、関係機関と実施した合同点検結果を踏まえた対応等について質疑がなされ、警察本部から、令和5年3月末では、全体の96%にあたる、163箇所187対策を実施し、残るハード対策が必要な8箇所8対策についても、令和5年度中の完了を目指している旨、次に、ゾーン30等の速度制限などの設置状況、計画について及びゾーン30以外の交通安全対策等について質疑がなされ、警察本部から、ゾーン30は県内に38箇所設置されていること、また、ゾーン30の速度規制に物理的デバイスを加えたゾーン30プラスについては、令和4年中に1箇所設置済みであり、今後の拡充に向け、道路管理者との効果検証・協議等を進めている旨、そして、スクールガード等の取組状況及び警察の関与について質疑がなされ、警察本部から、スクールガードの活動に役立つ不審者情報の提供を行っているほか、各警察署においては、見守り活動を実施する際の留意事項の指導、情報交換等を行い、その活動の支援等を行っている旨答弁している。さらに、信号機の設置状況、計画について質疑があり、警察本部から、直近5年間の信号機の設置要望数と実績、及び令和5年度の設置要望数及び設置見込みについて答弁している。

また、この関連質問として、希望いわて、花巻選挙区、名須川晋委員から、交通ボランティアの通行車両制止等の法的根拠について質疑がなされ、警察本部から、道路交通法を根拠に通行車両等に一定の制限を加えることは不可能ではないが、現実的には、通行車両等の協力を求める形で活動することとなる旨答弁している。

また、いわて県民クラブ、八幡平選挙区、工藤勝博委員から、交通安全協会の果たしている役割について質疑がなされ、警察本部から、子供や高齢者の交通事故防止対策や自転車の交通安全指導等を推進しており、県民の安全を守り、交通安全意識の高揚を図る上で重要な役割を果たしている旨答弁し、また、交通安全協会の運営上の課題についても質疑がなされ、警察本部から、交通安全協会の経営状態について答弁は差し控えるが、今後も、交通事故に関するデータの提供や協会が行う各種活動に警察官を積極的に派遣させるなど、より一層、連携、協働していく旨答弁している。

日本共産党、盛岡選挙区、斉藤信委員から、まず、先の供述調書改ざん・公用文書毀棄容疑事件について、弁護士会の公開質問状の内容と県警の回答について質疑がなされ、警察本部から、質問状の内容については、弁護士会が作成したものであり、県警としては答える立場にはないこと、また、県警察からの回答については、先方との個別具体的なやりとりに関することであることから、答弁は差し控える旨答弁している。これに関連する主な質問として、再発防止策に対する質疑に対しては、警察本部から、通達、緊急指示の発出による再発防止策等について、続く、取調べの録音録画の実態に関する質疑に関しては、警察本部から、録音録画の対象事件の説明及びこれまでの実績についてそれぞれ答弁している。続いて、職員による、令和4年5月の公用文書毀棄及び同年8月の私文書偽造事案が発生した原因について質疑がなされ、警察本部から、いずれの事案も、文書取扱原則の誤認、あるいは警察文書の重要性に関する意識が希薄であるなど、あってはならない事案であり、再発防止のため取組を強化していく旨答弁しており、行為者の処分が軽いのではないかという質疑もなされ、本部長から、関係職員の処分については、事案の内容並びに

全国及び県内のこれまでの先例を踏まえて、厳正に対処している旨答弁している。また、公安委員会への報告及びその記録について質疑がなされ、警察本部から、岩手県公安委員会運営規則第10条に基づき、適正に作成されている旨答弁している。この他、斉藤委員から以前より要望がなされていた横断歩道の設置と補修の見通しについて質疑があり、警察本部から、緊急性や必要性を個別に検討し、早期の設置・補修に努める旨答弁している。

日本共産党、奥州選挙区、千田美津子委員からは、高齢者による事故の県内の現状と今後の対応策について質疑がなされ、交通部長から、高齢ドライバーの人身事故の現状と実態について説明した後、対策については、従来の活動に加え、今後は巡回連絡時に広報チラシや夜行反射材をポスティングするといった施策を新たに加え、必要な方に必要な情報が届く取組を積極的に推進していく旨答弁している。また、危険箇所への信号機の優先設置について質疑がなされ、警察本部から、信号機の新設については、道路環境や交通事故の発生状況等を勘案し、設置の必要性、緊急性等を総合的に検討して判断していく旨答弁している。これに関連する質問として、通学路の合同点検を行った結果、横断歩道の塗り直し箇所が51件も見つかったことに対する県警の受け止めについての質疑があり、警察本部から、優先順位をしっかりと見極め、予算の範囲内でしっかりと措置していく旨答弁している。続いて、痴漢ゼロに向けた取組の強化について及び配偶者等に対する暴力の根絶について質疑があり、警察本部から、迷惑行為防止条例違反である卑わいな行為及び刑法犯の強制わいせつ罪の現状について説明した後、その対応策として、関係機関と連携したパトロール活動や、駅や列車内における警戒活動等を行っているほか、事案発生の際は、関係機関と緊密な連携を図りつつ、保護者等への注意喚起等を行っていること、また、配偶者からの暴力事案については、被害者の安全を最優先に、捜査と平行して、一時避難など被害者の保護措置を講じるとともに、その後においても継続して安全確認を行っている旨答弁している。これに関連する質問として、関係機関との横の連携を確保するための取組についても質疑があり、警察本部から、教育委員会、児童相談所と連携した現場対応訓練について答弁している。

つぎに、総務委員会の状況であるが、3月2日に開催された総務委員会において、警察本部関係の議案として補正予算に関する審査が行われ、警察本部あての質疑は1件なされた。自由民主党、宮古選挙区、城内よしひこ委員から、自転車ヘルメットの着用の努力義務について質疑がなされ、警察本部から、自発的にヘルメットを着用してもらうため、関係機関等と連携して、広報、街頭活動等を行っていく旨答弁している。

なお、3月17日に行われた総務委員会については、警察本部が所管する議案審査がなかったことから、出席要求はなかった。」旨の報告があった。

#### 《 委員発言 》

「信号機の設置や横断歩道の消えかかっているものについては、やはり市民からよく見える場所であり、市民から要望を受けた議員が質問する、意見を述べるというのはもっともなことだなと思う。それぞれ違う委員から予算が足りないんじゃないかという趣旨のこと、予算をもっと取った方がいいんじゃないかという趣旨の質問、発言があったということは、警察にとって応援してくれていると受け取って、出来るだけその市民の要望に答えるような形になれば良いと思う。せっかく良い質問をしているので、より強く進めていただきたい。」

《 委員質疑 》

「県の予算が限られており、警察に割り振られる予算も限られている中で、信号機や横断歩道の塗り直しにのみ予算が回る訳ではないことは理解しているが、必要とされる箇所に一斉に実施するという発想はあるか。やはり年度ごとに少しずつ実施するしかないのか。」

→本部説明

「限られた予算の中で必要性、緊急性を調査し見極めた上で、優先度の高いものから可能な範囲で順番に対応していくこととなる。」

《 委員発言 》

「最近、きちんと横断歩道手前で止まる車が多くなったと感じているが、その横断歩道の表示、標識があっても、表示自体がきちんとされていないと、それがせつかく止まる習慣ができていのに守られなくなっていくと思う。そのためには、やはり、きちんと表示された横断歩道があった方が良いと思うし、信号機がないところについては、特に学校や病院近くという優先順位があると思うが、全体的に見直しを検討して欲しい。」

→本部発言

「可能な範囲、予算の中で対応していく。」

《 委員発言 》

「議会だけではなく公安委員からも話があったことを強みとして良いと思う。計画的に段取りして予算要求していると思うが、今こそ必要な機会と捉え、公安委員会からも進めて欲しいと要望されているということアピール材料として活用してもらっても良いと思う。」

→本部発言

「公安委員の発言を応援・追い風として捉え、今後もしっかりと活動していく。」

○ 令和5年春の叙勲及び第40回危険業務従事者叙勲の内示について

警察本部から、「まず、「令和5年春の叙勲」は、元事務吏員で、厚生課長で退職した飯岡照雄氏が瑞宝双光章を受章予定で、4月下旬の閣議を経て正式決定の予定。「第40回危険業務従事者叙勲」は、元警部の伊藤文雄氏ほか15名の方が受章予定。

伝達式は、5月9日(火)に「盛岡東警察署5階会議室」において実施予定で、来賓として、公安委員長及び警友会連合会会長に出席の案内を送付している。

広報については、内閣府賞勲局が報道機関に一括発表し、報道解禁の予定日は、令和5年春の叙勲は4月29日(土)、第40回危険業務従事者叙勲は4月8日(土)の予定となっている。県警察でも、報道機関に対して受章者の略歴等の資料を提供の上、広報する。」旨の報告があった。

【生活安全部議題】

○ 地域クラブに対する特殊詐欺被害防止サポーター委嘱状交付式の開催について

警察本部から、「特殊詐欺被害防止サポーター制度とは、特殊詐欺の被害防止に資する広報活動等を担っていただける団体や個人の方を指定して協力をいただくもので、現在31

団体・3個人に委嘱している。今回、委嘱をする団体は、「いわてグルージャ盛岡」「岩手ビッグブルズ」の2団体で、いずれも岩手県を代表する地域クラブであり、これまでも県内各地域で各種のボランティア活動を展開しているほか、警察活動にも協力をいただいている等、社会貢献に対する理解も深い。また、いずれも大きな情報発信力を有しており、ファンである若年層や中高年層に対する被害防止のための情報を浸透させることで、社会全体での特殊詐欺被害防止の機運の向上に加えて、子供から親、祖父・祖母へといった家族を通じた被害防止にも繋がると期待している。

委嘱状交付式は、令和5年4月7日金曜日午後1時30分から、警察本部で行うこととしているが、広報も予定しており、広く県民に周知しながら、機運を高めていきたいと考えている。」旨の報告があった。

#### 《 委員質疑 》

「委嘱先を見ると、一関ケーブルネットワークや一関コミュニティFM株式会社というマスコミ媒体が入っているが、なぜテレビ局の地方局4局、FM2局、それから新聞社のようなマスコミが入っていないのか。費用を出さないと広報してくれないからなのか、それとも当然協力してくれるところだから委嘱せずともやってくれるということなのか。委嘱されていれば折りに付けて何かを契機に広報してもらえることもあるのではないのか。グルージャやビッグブルズは法務省法務局の関係の人権擁護等でもお願いしていて、その人権擁護の方ではテレビ局にも新聞社にもお願いして広報してもらっている。ビッグブルズについては冠試合等もしてもらっているほか、それ以外にも日常的に広報してもらうことをお願いしているので、それと比較するとテレビ、新聞、ラジオ等が入っていないのが少し気になったが、何か理由はあるのか。」

→本部説明

「協力していただいているところはそのとおりであり、委嘱という形になっていないだけだと思う。広く広報していただけるという点は今後考えて行かなければならないところであり、改めて検討していきたい。」

#### 【その他】

- 新入学期の交通事故防止推進機関の実施について報告があった。
- 警察官採用活動について報告があった。

#### ■個別会議

##### ○ 運転免許課

指定自動車教習所に対する行政処分（監督命令）についての説明、決裁  
免許取消等処分関係で意見の聴取結果等の説明、決裁

##### ○ 総務課

公安委員会あて苦情の処理についての説明